Canon

Satera
MF851Cdw

安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、および財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。さらにオンラインマニュアルサイト(https://oip.manual.canon/)の本機マニュアルにも記載がありますので、お読みになり、正しくお使いください。
また、本機のマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理や変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

⚠ 警告
製品の取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意
製品の取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや製品故障以外の物的損害を防ぐための注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

❗ 重要
操作上、必ずお守りいただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずこの重要事項をお守りください。

安全規格関連のマーク
製品に使われているマークは次のとおりです。

- 電源スイッチオン（入）
- 電源スイッチオフ（切）
- スタンバイ（待機状態）
- プッシュプッシュスイッチ ■オン ■オフ
- 保護接地端子
- 感電注意：内部に危険電圧有。カバーを外さないでください。
- 高温注意：触れないよう注意してください。
- クラスⅡ機器
- 可動部有。可動部に触れないように注意してください。
- 感電注意：すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 鋭利なふち有。鋭利なふちに触れないように注意してください。

MEMO
お使いの機種によっては表記されていないマークもあります。

■ 化学安全情報について

製品の安全データシート（SDS）は canon.jp/SDSにて提供しております。

■ 設置について

本機を安全にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みのうえ、適切な場所に設置してください。

⚠ 警告

次の場所には設置しない
火災や感電のおそれがあります。
- 通気口をふさぐおそれのある場所（壁の近く・カーテン・毛足の長いじゅうたんの上など）
- ホコリや湿気の多い場所
- 熱器具の近く、火気のある場所
- アルコールやシンナーなどの引火性溶剤の近く

医療用機器の近くで無線LANを使用しない（無線LAN機能搭載製品のみ）
電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

⚠ 注意

次の場所には設置しない
故障したり、人体や他の機器に影響を与えたりするおそれがあります。
- 屋外や、直射日光の当たる場所
- 低温・低湿、または高温・高湿の場所
- 急激な温度変化や湿度変化のある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- テレビ・ラジオ・コンピューターなどの電子機器や精密機械の近く
- 化学反応が発生する場所（実験室など）
- 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
- 不安定な場所、振動のある場所
- 本機の重みによって、ゆがみや沈みが起きる可能性のある場所（じゅうたん・畳・ベッドなど）
- 本機からの排気が人体に直接当たる場所

正しい方法で本機を移動する
誤った方法で移動すると、けがをするおそれがあります。
- マニュアルの指示に従って、正しい持ちかたをする
- 本機と床面や壁との間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に設置する

換気しながら使用する
本機の使用中にはオゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、部屋の換気をするようにしてください。

設置後はストッパーを外さない（付属製品のみ）
本機が動いたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

❗ 重要

無線LANを利用する場合（無線LAN機能搭載製品のみ）
- 無線LANルーターとの距離が50m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、つながりにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からは、できるだけ離して設置してください。

電話回線について（ファクス対応機のみ）
電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が1700Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によっては、通信できないことがあります。このような場合は、販売店または担当サービスに連絡してください。
- 本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみに接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると、故障するおそれがあります。必ず回線を確認してから接続してください。

ケーブルについて
モジュラーケーブル、USBケーブルには、3m以内の長さのものを使用してください。

■ 電源について

⚠ 警告

電源プラグやコードを正しく使う
誤った使いかたをすると、火災や感電のおそれがあります。
- 本機への電源供給が安全であることと、安定電圧であることを確認して使用する
- 仕様と異なる電源電圧で使用しない
- 付属の電源コードを使って、本機を確実にアース端子付きコンセントに接続する
- 付属の電源コード以外は使用しない
- 付属の電源コードを本機以外に使用しない
- 複数の接続口を持つコンセントに本機の電源コードを接続した場合は、残りの接続口にほかの機器を接続しない
- 延長コードを使用しない
- 電源コードに足を引っ掛けないよう配線する
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などをしない
- 電源コードに重いものをのせない
- 電源コードを束ねたり、結んだりしない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コネクタを頻繁に抜き差ししない
- 電源コネクタに強い衝撃を加えない
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む
- 雷が発生した場合は、本機に触らない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
- 連休などで長期間本機を使用しないときは、電源を切り、電源プラグを抜く

アース線の接続は次のことを守る
誤った接続をすると、ガス爆発・火災・感電のおそれがあります。
- コンセントのアース端子、または接地工事（D種）が行われているアース端子に取り付ける
- 次の場所には、絶対にアース線を接続しない

・水道管（水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できる）
・ガス管
・電話線のアースや避雷針

重要

- 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外すときは、必ず電源プラグを電源から切り離して行ってください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障のおそれがあります。
- 電源コードをパソコン本体の補助コンセントに接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。
- 電気的なノイズは、本機の誤動作、またはデータ消失のおそれがあります。
- 電源コードを抜いて再度接続する場合は、5秒以上間隔を空けてください。
- 許容範囲を超える電源電圧の降下は、本機やパソコンの誤動作、またはデータ消失のおそれがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などに相談してください。

■ 取り扱いについて

警告

次の取り扱いを守る
誤った取り扱いをすると、火災・感電・やけどのおそれがあります。
- 異音や異臭がする、発熱・発煙している、部品が破損しているなどの場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、販売店または担当サービスに連絡する
- 本機の分解や改造をしない
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などは、子供の手が届かないように注意する
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かない
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しない
- 本機を移動する場合は、必ず電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルと電源コードを取り外す
- 電源プラグをコンセントに差したままUSBケーブルを抜き差しする場合は、コネクタの金属部分に触らない
- 本機の接続部（電源コンセントやコネクタなど）に、指定品以外を接続しない
- オプション品を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルと電源コードを取り外す

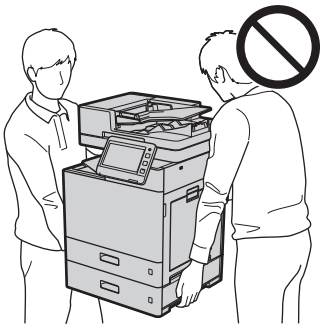
清掃・点検は正しく行う
誤った方法で行うと、本機が正しく動作しなかったり、火災・感電・静電気が発生したりするおそれがあります。
- 定期的に本機を清掃する
- 清掃する前に、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取る
- 水で湿らせ固く絞った布を使用する。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー・紙タオルなどは使用しない。
- 発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうかを、定期的に確認する

心臓ペースメーカーをご使用の方へ
本機またはトナーカートリッジから微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師に相談してください。

注意

原稿台ガラスに重いものを落とさない
ガラスが破損して、けがをするおそれがあります。

給紙カセットやオプション（カセットユニット・カセットペディスタル）は、取り付けた状態で持ち運ばない
落下してけがをするおそれがあります。



次の取り扱いを守る
けが・故障・紙づまりのおそれがあります。
- 本機の上に重いものを置かない
- 開閉部を操作する場合は、手を挟まないように注意する
- 手･ゆったりした衣服･ぶら下がるアクセサリーなど巻き込まれるおそれのあるものを、ローラーなどの可動部に近づけない
- 用紙を補給する場合や紙づまりを取り除く場合は、用紙の端や部品で手を切らないように注意する
- 本機に強い衝撃や振動を与えない
- 開閉部を無理に開け閉めしない
- 本機の稼働中に電源を切らない
- 稼働中にカバーの開閉や用紙の出し入れを行わない
- 本体内部に無理に手を入れない

移動や移設はユーザーズガイドの指示に従う
本機の設置後に設置場所を変更したり設置しなおすなど移設する場合は、ユーザーズガイドの指示に従ってください。

フィーダーは正しく取り扱う
誤った取り扱いをすると、けがをするおそれがあります。
- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーする場合は、フィーダーを破損するほど強く押さない
- フィーダーはゆっくりと閉じる
- フィーダーの奥に、手や指を差し入れない



カセットを引き抜いた状態で、本体内部に手を入れない（カセット装着機のみ）
けがをするおそれがあります。

高温・高電圧の箇所に触れない
けがややけどのおそれがあります。
- 本体内部では、マニュアルで指示されている箇所以外に手を触れない
- 使用直後は、本体内部や排紙口が高温になるため、手を触れない
- 連続印刷すると用紙が熱くなることがあるため、取り扱いに注意する



■ 規格/規制について

本体製品名称について
この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、次の（）内の名称で登録されていることがあります。
Satera MF851Cdw（F826302）

電波障害規制について
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

高調波の抑制について
本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

無線LANの使用について
5150-5350MHz:屋内のみ使用可
* for indoor use only（5150-5350 MHz）

警告

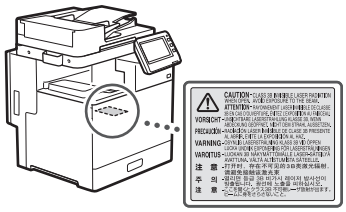
レーザー光について、次の注意事項を守る
レーザー光が漏れて目に入った場合は、目に障害が起こるおそれがあります。
- 本機のマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けない
- マニュアルで規定された、制御、調整、および操作手順以外の利用は、危険なレーザー光の露

出を引き起こす可能性があるため、絶対に行わない

重要

- この製品はIEC60825-1:2014においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害になるおそれがあります。そのため本機では、レーザー光をカバーや外装で遮蔽しており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。

レーザー光の注意表示



付録

■ 原稿などを読み込む際の注意事項

原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、または複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

■ 消耗品について

警告

消耗品は次の取り扱いを守る

誤った取り扱いをすると、やけどや火災のおそれがあります。

- トナーカートリッジ・回収トナー容器を火中に投じない
- トナーカートリッジ・回収トナー容器・用紙を火気のある場所に保管しない
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸い込まないよう掃き集めるか、濡れた雑巾などで拭き取る。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しない。

注意

消耗品は次の取り扱いを守る

誤った取り扱いをすると、けがや健康を害するおそれがあります。万一、トナーを吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、医師に相談してください。

- 幼児の手が届かないところへ保管する
- 分解しない
- トナーカートリッジからトナーが漏れた場合は、吸い込んだり直接皮膚に付けたりしないように注意する。皮膚に付いた場合は、石鹸を使い水で洗い流す。刺激が残るときは、ただちに医師に相談する。
- 回収トナー容器を引き出すときは、落下に注意する

重要

- 紙づまり処理やトナーなどの消耗品を交換する場合は、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。
- トナーが衣服や手に付着した場合は、ただちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。

■ 本書について

商標記載

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

■ 第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1 ～ 8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
   - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
   - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記１～８のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者ソフトウェア」が含まれます。下記のURLより該当する「本製品」に対応する「第三者ソフトウェアについて」をご確認ください。
https://oip.manual.canon/

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。

以上

V_251107

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT6-3832-000

FT6-3832 (000)　XXXXXXXXXX
Copyright CANON INC. 2026
PRINTED IN KOREA